



相手チームと激しいボール争いをする伊藤選手

ピッチに輝け ASエルフェン埼玉



第8号

エルフェンは昭和60年、狭山市で地域少女チームを発足。県リーグ、関東リーグを経て、平成14年からLリーグ(現在のなでしこリーグ)に加盟した。平成24年には、チャレンジリーグ(二部リーグ)に降格するも、昨年9月になでしこリーグレギュラーシリーズに昇格を果たした。

チームスポンサーを務める化粧品メーカーちふれ(本社:川越)が大河原工業団地に建設予定の新工場に人工芝グラウンドを併設し、本拠地として、昨年からは練習が行われている。

現在、1勝5敗、ランキング9位。次試合は31日、ジェフユナイテッド市原・千葉レディースと対戦。6月7、15、28日には、NACK5スタジアムホーム3連戦を予定している。

▽GK=山郷のぞみ▽DF=武田ありさ▽DF=齊藤夏美▽DF=内海結依▽DF=竹山裕子▽MF=堰愛季▽MF=薊理絵▽DF=高橋優子▽FW=齋藤有里▽MF=伊藤香菜子▽FW=鈴木薫子▽MF=原歩▽MF=萩原愛海▽MF=内田紗希▽MF=高橋花歩▽FW=奈良美沙季▽FW=山崎小百合▽FW=荒川恵理子▽DF=秋田谷美里▽GK=船田麻友▽MF=大谷絵里奈▽FW=杉山貴子▽FW=河合奈世▽MF=中野里乃▽GK=有馬静佳



市民の応援 追い風に

飯能になでしこ

女子サッカー

飯能になでしこたちがやってきた。大河原工業団地の一角に練習拠点を構える女子サッカーチーム「ASエルフェン埼玉」は、3月から始まったプレナスなでしこリーグ2014レギュラーシリーズとして活躍を見せ始めている。戦局は厳しいが「まだまだチームとして発展途上中。全てに更なるレベルアップが必要だが、可能性はある」と松田岳夫監督。昨年には、元日本代表の山郷のぞみ(GK)、伊藤香菜子(MF)、荒川恵理子(FW)など経験豊富なベテラン勢もメンバーに加わるなどチーム力の強化が図られ、新たな進化を遂げられるかが今後の課題だ。「今まで本拠地がなかった分、飯能市にグラウンドが出来て嬉しい。市民の方々に是非試合を見に来てほしい」と呼び掛けている。ホームの応援が彼女たちの力となり、追い風となるはずだ。



大河原工業団地に構えるグラウンド

若手、ベテランと個性豊かなメンバーが揃う同チームだが、その中で圧倒的な存在感を見せるのは守護神・山郷だ。平成9年に日本代表デビューを飾り、11年には海外への移籍を果たすなど、経験、実力ともに日本女子サッカーの根拠を支え続け、まさに女子サッカー界のレジェンド。

「キー選手は全員」 松田 岳夫 監督



チームを牽引する松田監督。着任して1年、厳しい戦局に置かれていたが、目線は常に前だ。「なでしこレギュラーシリーズへの復帰について一からではなく、ゼロからのスタートだった。今までの当たり前だと思っていたことを改善していかなければ何も変わらないことを伝えた。今までは以上に何かをやらなくてはならない。漠然とした何かではなく、はっきりとした何かを。トレーニングやミーティングで意識付けをしていった」

チームのキー選手は全員。飛びぬけた選手が1人いても成り立つものではない。要所には必要だが、あくまで全員が一つの方向を向いてプレイをするには、キー選手は全員だと考えている。

「描く勝利の形は漠然としているが、常に良い形のあるサッカーでなく、自分たちが主導でゲームを進められる結果、勝ちにつなげる」

厳しい戦局の今シーズン。昨年は少しづつだが、成長を遂げた。しかしまだ一部リーグとのレベルの差は歴然。自信や経験、プレイをやりきる泥臭さや力強さは勝負の肝の部分。総合的に全てが足りない。サッカーはクレバーなスポーツ。体使用だけではない、気持ち込めただけじゃないというところを選手たちに伝えたい。

今後の意気込みは「年間を通してチーム、個人が成長していくことが大切。結果、成績にとらわれず、先を見据えて一戦一戦大事にやっていきたい」

座石の銘は「勝利の女神は準備されたところにやってくる」。試合は本番、練習が準備。良い準備した選手、スタッフ、チームが勝利を手にかかってくるから



試合観戦に訪れた大久保市長とエルフェン

チームを牽引する松田監督。着任して1年、厳しい戦局に置かれていたが、目線は常に前だ。「なでしこレギュラーシリーズへの復帰について一からではなく、ゼロからのスタートだった。今までの当たり前だと思っていたことを改善していかなければ何も変わらないことを伝えた。今までは以上に何かをやらなくてはならない。漠然とした何かではなく、はっきりとした何かを。トレーニングやミーティングで意識付けをしていった」

若手、ベテランと個性豊かなメンバーが揃う同チームだが、その中で圧倒的な存在感を見せるのは守護神・山郷だ。平成9年に日本代表デビューを飾り、11年には海外への移籍を果たすなど、経験、実力ともに日本女子サッカーの根拠を支え続け、まさに女子サッカー界のレジェンド。

チームを牽引する松田監督。着任して1年、厳しい戦局に置かれていたが、目線は常に前だ。「なでしこレギュラーシリーズへの復帰について一からではなく、ゼロからのスタートだった。今までの当たり前だと思っていたことを改善していかなければ何も変わらないことを伝えた。今までは以上に何かをやらなくてはならない。漠然とした何かではなく、はっきりとした何かを。トレーニングやミーティングで意識付けをしていった」

チームを牽引する松田監督。着任して1年、厳しい戦局に置かれていたが、目線は常に前だ。「なでしこレギュラーシリーズへの復帰について一からではなく、ゼロからのスタートだった。今までの当たり前だと思っていたことを改善していかなければ何も変わらないことを伝えた。今までは以上に何かをやらなくてはならない。漠然とした何かではなく、はっきりとした何かを。トレーニングやミーティングで意識付けをしていった」

飯能になでしこたちがやってきた。大河原工業団地の一角に練習拠点を構える女子サッカーチーム「ASエルフェン埼玉」は、3月から始まったプレナスなでしこリーグ2014レギュラーシリーズとして活躍を見せ始めている。戦局は厳しいが「まだまだチームとして発展途上中。全てに更なるレベルアップが必要だが、可能性はある」と松田岳夫監督。昨年には、元日本代表の山郷のぞみ(GK)、伊藤香菜子(MF)、荒川恵理子(FW)など経験豊富なベテラン勢もメンバーに加わるなどチーム力の強化が図られ、新たな進化を遂げられるかが今後の課題だ。「今まで本拠地がなかった分、飯能市にグラウンドが出来て嬉しい。市民の方々に是非試合を見に来てほしい」と呼び掛けている。ホームの応援が彼女たちの力となり、追い風となるはずだ。



守護神・山郷選手



(左から)薊選手、奈良選手

飯能市も応援 大久保 勝市長



ASエルフェン埼玉の皆様、ようこそ飯能へお越しくださいました。飯能市民を代表しまして、心より歓迎申し上げます。今、本市では女性と子どもにやさしいまちづくりの視点を加え、元気でワクワクするまちづくりに取り組んでおります。こうした中、なでしこリーグで活躍されている女子サッカーチームが、本市に練習拠点を構えてくださることを大変うれしく思っております。どうか皆様のご活躍で飯能市を元気に、そして市民の皆様がワクワクする気持ちを持っていただきますように、本市としても、飯能市民に愛される女子サッカーチームに成長できるよう、本市のイベントへの参加や子どもたちと触れ合う機会を設けるなど、最大限のバックアップをしていきたいと考えております。チーム名はASエルフェン埼玉ですが、わがまちのサッカーチーム「ASエルフェン飯能」のつもりで、市民の皆様と共に応援してまいります。なでしこリーグ優勝を目指して、頑張ってください。